

ヒト、まちを豊かにする『空間』を提供したい

宮町の複合施設『まちトープ』の建築設計を手がけた佐藤さん。若者が集い、まちを盛り上げるつばめ若者会議“燕ジョイ活動部”出身です。建築家としての活動とまちづくりへの思いを伺いました。

「中学生のころ、デザイナーズ家具に興味を持ち、気になった家具を調べていくと、建築家がデザインしていることを知り、建築家を目指すようになりました」

家具デザイナーの夢を抱き、進学した大学で家具だけではなく、ヒトが豊かに過ごせる『空間』をつくりたいという気持ちで芽生え、建築設計の道に進むことに。「新しいモノや良いモノをみんなに教えたい、驚くようなモノを見せたいという気持ちが私の原動力です」

大学卒業後は設計事務所に就職。そのころ活動していた燕ジョイ活動部でも、まちづくりイベントの企画で斬新なアイデアを出しては、みんなを驚かせていました。一昨年、設計事務所から独立し、建築家として活動を開始。建築業界では、20代で独立することは珍しく、周囲からは、まだ早いといった声も多かったそう。



佐藤 圭真さん(井土巻五丁目)
●建築家

「失敗や苦勞することもありますが、自分の名前で世にモノを出したいという思いが早くも叶い、自分としてはベストのタイミングだったと思っています」

独立後に手がけた設計の一つで、地元が宮町に2月プレオープンします。

「この場所からまち全体の賑わいにも影響を与えられる施設になるように意識して設計しました。使ってもらって初めて『空間』が生きることで、多くのヒトに使ってもらえるとうれしいです」

今後自身も設計する『空間』で地元燕市の発展に貢献したいと話します。

「これからもたくさんさんの実績を積んで、ゆくゆくは燕市の公共施設などの設計にも携われるようにしたいです」



▶2月プレオープンする『まちトープ』の内観



佐藤さんの作品 ▶

@KEIMASATO

紙上ブログ

燕市長 鈴木力



「天神講」の季節になりました。学問の神様・菅原道真公の命日2月25日に、色鮮やかなお菓子を提供、学業成就や子どもたちの健やかな成長を願う風習です。

今年も市内菓子店の協力を得て、SORAIRO 国上や燕三条地場産業振興センターなど7会場で開催つばめ天神講菓子展を行います。

SORAIRO 国上では受験生応援のため1月から販売していますが、これらが本番、粉菓子、金花糖、生菓子といった種類があり、主役の天神様の表情もそれぞれのお店で違います。

皆さんのご家庭でも、天神講菓子をお供えして、春を呼び込みましょう。

▶こちらは有料広告です。

NCT スマホ利用料もおトクになります!

とセットなら

※スマホ利用料割引の適用には、インターネット・電話などの契約が必要となります。他にも、各種条件がございます。
※掲載されている会社名は各社の商標または登録商標です。★キャンペーン詳細は「おうち割光セット適用条件書」をご確認ください。

NTT docomo

au

SoftBank

UQ mobile

0120-080-009

電話受付時間 9:30~17:30 (ドコモ光タイプCに関しては10:00~19:00)
※上記時間以外・土日祝・お盆期間・年末年始は時間外受付に転送されます。

※この広報紙は、環境にやさしいペジタブル・オイル・インクを使用しています。